

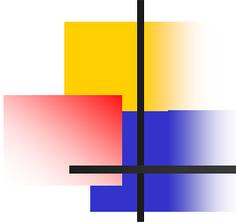
# V C A S I の政策発信

制度研究による霞ヶ関への挑戦

---

2007年7月4日

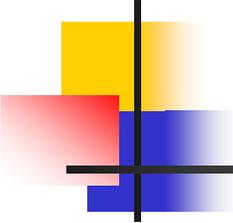
加藤創太



# 日本の政策マーケットの現状(1)

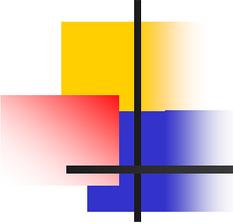
---

- ◆ 霞ヶ関による政策マーケットの独占  
「金にもならない、票にもならない」
  - 政党による政策立案機能の軽視(政策秘書問題、政党シンクタンク)
  - 民間シンクタンクの縮小・撤退(野村総研、三菱総研・UFJ総研等)
  - 官庁系シンクタンクの制約
  - 霞ヶ関の政策形成プロセスに取り込まれたアカデミズム(審議会、「族学者」)
  - 人材育成ルートの閉鎖性
  - 組織、地理、分野、人脈等、様々な参入障壁の構築



## 日本の政策マーケットの現状(2)

- ◆ 小選挙区制と二大政党制は政策マーケットを活性化させるか？ 可能性と限界
  - 失われつつある霞ヶ関のクレディビリティと調整能力  
政策の真空状態
  - 政策マーケットを支えるインフラの欠如(第三者評価機関等)  
マニフェスト選挙の虚妄
  - 自民党(与党)は霞ヶ関を掌握。野党は財政難、人材難。  
自民党vsアンチ自民党・党
  - 最大争点への有権者の意識の集中(政治学の「争点の束」)  
霞ヶ関のフリーハンドの増大
  - 官僚が議員の利害関係を調整する時代は終焉。ただ政策の源泉は相変わらず霞ヶ関。



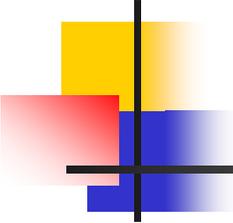
## 混同される二つの問い(1)

---

- ◆ 霞ヶ関による政策マーケットの独占をどう考えるか？
  - 霞ヶ関は有能か？
  - 霞ヶ関による政策マーケットの独占は問題か？

必ずしもストレートにリンクしない。最悪なのは「有能な独占者」。  
霞ヶ関の閉塞状態、二大政党制時代の政策マーケット、真空状態。

財政的・思想的・政治的に中立的で、高度な分析能力と中長期的な視野を持った研究機関の必要性



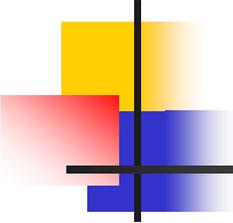
## 混同される二つの問い(2)

---

- ◆ 政策形成に社会科学的研究は有用か？
  - 社会科学的研究(特に経済学)は「正しい」のか？
  - 社会科学的研究は政策形成に影響を与えうるのか？

単純な世界を前提としない限り、二つは同じ問いではない。  
Peter Hall(ハーバード大学政治学部教授)らによる経済学  
思想の政治的影響力についての研究

制度転換期には、中立性、客観性を持つ社会科学的研究  
は一種のフォーカルポイントとして強い影響力を持ちうる。



# VCASIの特徴

---

- 90年代以降の日本の政治経済はまさに制度転換期を迎えている
- WEB技術の発達により研究分野、地理的制約、などを超えた知的交流の活性化が可能に
- 経済、政治、社会をお互いに連関するものとして捉える現実的アプローチ
- 政策担当者も招いたバーチャル+リアルな討論の実施
- 東京財団という「場」の活用
- 学問的厳格さ、客観性の維持こそが影響力確保への途 政策論争のフォーカル・ポイントの提供者に

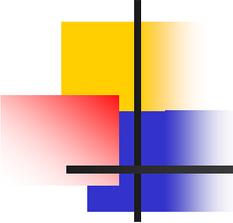
真に中立的で学問的規律を保った研究機関を目指す

# 政策と研究

すれ違う指向、異なる文化、価値観

Ex. ロケット開発:

基礎物理学	実験物理学	.....	メーカー
研究開発部門	メーカー製造部門		審議会
では無理			



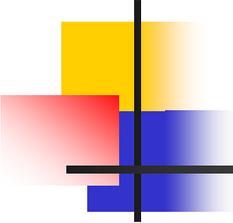
# 政策と研究

---

## ◆ 霞ヶ関官僚

- 理論的整合性よりも、政治、経済、社会の利害調整の手段・結果としての政策 = 現実性のある政策
- 「政策はscienceではなくart」
- 試行錯誤のためのバッファ（裁量）を確保  
(e.g., トヨタvsGMの生産ライン)
- 1年で90%のソリューションよりも1週間で70%のソリューション
- 政策の正統性を確保するため、理論、学者、有識者などを利用  
(審議会政治)
- 「族学者」の養成

学者は、非現実的、一面的、単純、遅い、理解不能。



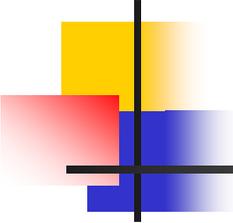
# 政策と研究

---

## ◆ 研究者

- 学問的規律と政策提言のジレンマ
- 「族学者」の誘惑  
データ、情報、ポスト、研究資金、メディアへの露出
- 知的生産者から翻訳家への途？
- 大学の実務家偏重姿勢への迎合と反発

政策研究は、世俗的、政治的(色が付く)、学問の degrade、学問的規律からの離脱。政策研究は、一方通行の道か？ 米国の大学でも「ワシントンの大学に行くと二度と出てこられない」と言われる。

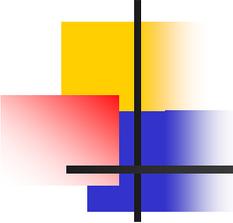


## VCASIの挑戦

---

- ◆ 基礎理論から政策形成までのプロセスを「つなぐ」一つのモジュール型研究機関として機能

研究者がレベルを落とさないで研究活動を行える環境を提供しつつ、政策形成プロセスとの連結の仕組みをネット上とリアルの双方で構築し、基礎理論から政策形成までを「つなぐ」役割を果たす。

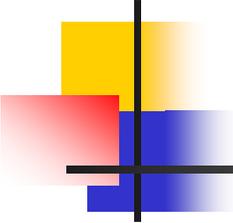


## VCASIの挑戦

---

- ◆ 中立性、客観性という強みを持った分析を実施し、政策形成プロセス上の他のアクターの協力を得ることで、二大政党制時代の政策のフォーカルポイントを提示する。

VCASIの研究分析を政策的に翻訳できる人材、政策担当者との交流、などを通じ政策形成プロセスとの効率的な連結のあり方を構築していく。



## VCASIの挑戦

---

- ◆ 異なる思考プロセス、文化、価値観を持った者との間の知的交流の仕組みをWeb上に構築。
- ◆ 基礎から応用までの研究分野、研究者から政策実務家までの人材の知的交流を活性化させる。

政策形成プロセスの人的・知的な多実化を実現する。